

ご近隣の皆様へ

第三回地元説明会開催結果のご報告

3月11日に開催致しました第三回地元説明会にはご多忙の中、ご出席を頂き、誠にありがとうございました。

これまでの説明会などにおいて、地域の皆様から大変貴重なご意見をいただき、弊社の対策等に活かさせていただいておりますことにつきまして、改めて御礼申し上げます。

以下、当日の説明会について、簡単ではございますがご報告をさせていただきます。

(1) PCB 検査のご報告について

第二回説明会（R4年11月26日開催）でご報告した148箇所の検査（井戸、用水路・河川、土壌）に加えて、本説明会までに244箇所を追加検査した結果、現時点までの合計392箇所の検査（井戸、用水路・河川、土壌、底質）でPCBはすべて不検出であることをご報告致しました。

(2) 各対策の進捗状況について

本件に関して実施している対策の進捗状況を、以下の通りご報告致しました。

- ① 油流出箇所である工場北側用水路のすべての草・泥の撤去および洗浄（完了済）
→2022年10月に完了致しました。対策の完了後、PCB検査を実施し、すべて不検出でした。
- ② 場内PCB機器の搬出・処分（3月18日完了予定）
→3月18日までに、場内にあるすべての高濃度・低濃度のPCBを含む機器を搬出・処分することをご報告致しました。
- ③ 工場下流域の用水路・河川の洗浄（完了済）
→①の工場北側用水路の対策完了後、下流側の用水路・河川の延長約2kmを15m毎に区分し、油膜調査および底の土のPCB検査を行いました。その結果、工場敷地に隣接する上流部の真東の3箇所のみが安全目安値※（0.04mg/kg）をわずかながら上回った（0.049mg/kg、0.054mg/kg、0.040mg/kg）ため、その底の土および草や油膜が確認されたすべての区画の底の土および草の撤去や洗浄を実施し、対策後のPCB検査はすべて不検出でした。
（※安全目安値：法などで定められた値ではなく、PCBに知見を有する専門家が科学的なデータに基づいて、住民の皆様にご安心いただけるよう、相当厳しく設定した客観的な値）
- ④ 油漏れを起こした変圧器直下の土壌および周辺のボーリング調査（3月末完了予定）
→変圧器直下の土壌（横幅10m×縦幅2m）について掘削、撤去、健全土への入替を完了しました。土壌汚染対策法に基づく溶出量試験（<0.0005mg/L）によるPCBに関する検査結果は不検出であり、地下水を通じて健康に影響が出る状況にはありません。現在は油の広がりの有無を調べるため、念のため土壌を掘削、撤去した範囲外において、ボーリング調査等を実施中です。

(3) 用水路・河川の安全について

上記の対策のうち、①の「工場北側用水路対策」、②の「工場下流域の用水路・河川対策」が完了したこと、それに関する専門家の評価を含めて、用水路・河川について安全であり、農業用取水としてご利用されることや川のツガニなどを食されても問題無いと判断致しました。また今後、③の対策が完了予定であることから、当工場敷地からPCBが流出することはないと判断したことをご報告致しました。ご休心いただきますようよろしくお願い申し上げます。

当社と致しましては、3月末完了予定の④「変圧器周辺のボーリングおよび土壌・地下水調査」を速やかに進めてまいります。調査結果につきましては改めてご報告申し上げますとともに、仮に調査において、油の拡散

が確認された場合には、必要に応じて状況に即した対策を実施します。

住民の皆様には引き続きご心配、ご迷惑をお掛け致しますが、今後とも何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(本件に関する問い合わせ先)
高知工場現地対策本部 TEL：088-864-3107